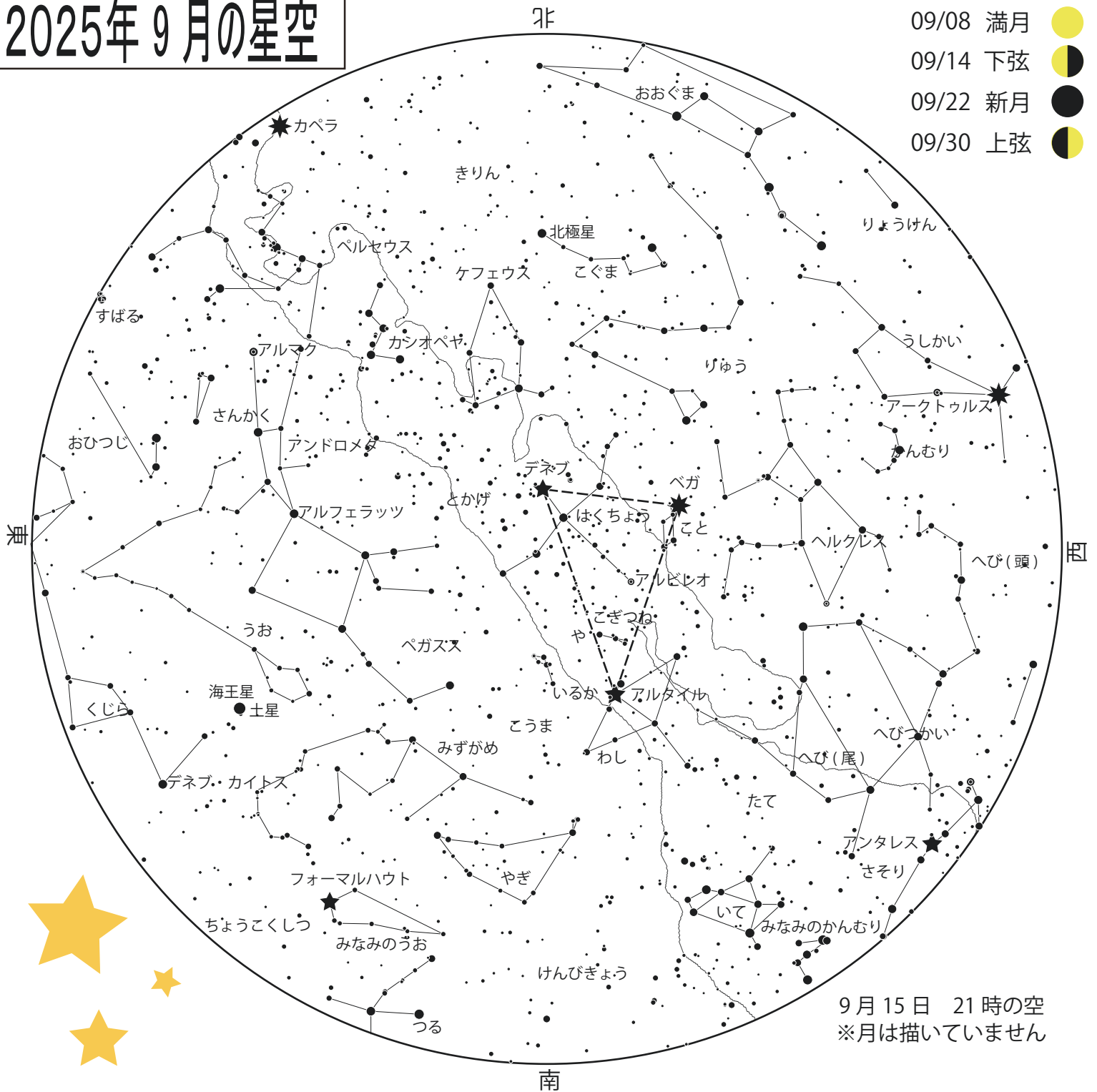


# 姫路で見る 2025年9月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 09/08 満月 
- 09/14 下弦 
- 09/22 新月 
- 09/30 上弦 



9月15日 21時の空  
※月は描いていません

9月8日、約3年ぶりに日本全国で**皆既月食**が見られます。7日の夕方に昇った**満月**が、8日に日付が変わった1時27分に欠け始めます。完全に**月**が地球の影に入る**皆既月食**は、2時30分から3時53分まで、その後4時57分に**部分食**が終わります。深夜から未明にかけての天体現象となりますが、赤銅色(しゃくどういろ)に輝く**月**を楽しんでみましょう。

**月食**が終わって沈んだ**月**が夕方、再び東の空から昇ってきたとき、すぐそばに明るい**土星**が見え、**月**と**土星**は翌9日の午前2時頃に最も接近します。**土星**は観望の好機を迎え、一晩中夜空に輝いています。17日の未明から20日にかけて、夜明け前の東の空低く、**木星**、**金星**、細い**月**が並びます。

**こと座**の**ベガ**、**わし座**の**アルタイル**、**はくちょう座**の**デネブ**の明るい一等星をつないでできる「**夏の大三角**」が見えています。空の高いところまで昇るので、よく目立ちます。この時期は、夜のはじめの頃から明け方まで一晩中見えているので、まさに夏のシンボルと言えます。空が十分に暗ければ、南へと続く**天の川**の淡い光も見えることでしょう。